

歯の役割について（もし、歯を失ってしまったら）（お知らせ）

秋冷の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

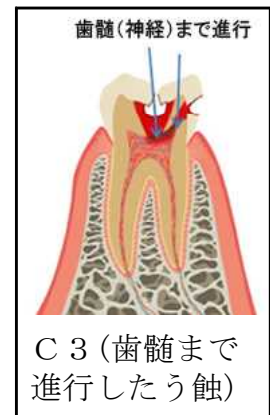
さて、本校では、歯の大切さについて、機会を捉えて指導を行っているところですが、歯科検診の結果 94名(全校生徒634名 罹患率約15%)が、う歯（むし歯）を抱えており、これは計算上、各学級に6名程度の罹患者がいることになります。そのため、集中力の低下や自己の運動能力を十分発揮できない等の悪影響が生まれている状況です。

う歯の治療については、この中学生の時期までに治療を行えば、う歯の進行を食い止めるだけでなく、学力や体力の向上、及び将来に渡って健康な生活を保障することにもつながります。

しかしながら、う歯治療の勧告書を以前、該当家庭に配布させていただきましたが、現在までのところう歯治療の完治者は、それほど増えておらず、非常に危機的な状況にあります。

つきましては、**お子さんの学力や体力及び将来の健康をお考えいただき、速やかにう歯の治療に取り組んでいただきますよう、ご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。**

なお、「歯の役割」や「歯を失った場合」等について、以下に記載しましたので、ご家庭での検討資料として参考にしてください。



● 歯の役割について

歯には、「食べ物をかむ」こと以外にも、右欄のように、たくさんの役割があります。

→ 集中力向上

→ 運動能力発揮

① 食べ物を咀嚼する	② 食事を楽しむ	③ 異物をより分ける
食べ物をしっかり咬みくだき、栄養の吸収を助けるとともに胃腸への負担をやわらげます。	「歯ざわり」「咬みごたえ」などの感覚によって味覚を助け、食事の楽しさを広げます。	硬い物などの異物を咬む感覚で見つけて、体内に取り込まれるのを防ぎます。
④ 発音を助ける	⑤ 表情を豊かにする	⑥ 瞬発力を生み出す
唇や舌の動きを助け、正しい発音をサポートします。	正しい歯並びや咬み合わせによって顎の骨の成長が促され、表情を豊かにします。	奥歯をきちんと咬みしめることで全身の筋肉のバランスが整い、瞬発力を発揮させます。

● 歯を失ってしまった場合について

(1) 栄養の吸収を妨げる

歯を失うと食べ物がしっかり咀嚼されなくなり、栄養の吸収を妨げるとともに、胃腸への負担を高めてしまいます。

(2) 運動能力を低下させる

歯を失い、しっかり咬みしめられなくなれば、スポーツにおいて瞬発力が発揮されないように、日常生活においても運動能力が低下し、年齢を重ねるごとに自由に歩くことも難しくなってしまふことがあります。

(3) 認知症を進行させる

歯を失うと、従来咬むことによって脳に伝わっていた刺激がなくなったり、「食べる」ことがままならなくなることで、認知症になりやすくなります。

(4) 老化を早める

歯を失ってしまうと、それだけでも他人に老けた印象を与えてしまいます。